

学科名	生物環境化学科・電気通信工学科・建築・デザイン学科・情報学科・経営コミュニケーション学科・経営ビジネス学科						
科目名	特別活動の研究						
科目区分	教職科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	教職必修						
担当者	岡野亜希子						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動の教育課程上の位置づけ及びその基本的な性格について理解すること。</li> <li>・学習指導要領における特別活動の目標や内容について理解する。</li> <li>・集団活動の教育的な意味について考えることができる。</li> <li>・特別活動の指導に当たっての配慮事項について理解する。</li> </ul>						
日程と内容	第1回 オリエンテーション：授業の概要、成績評価について 第2回 特別活動の教育課程上の位置づけおよび教育活動としての意義 第3回 特別活動と各教科・科目、総合的な学習時間等との関連 第4回 学習指導要領改訂の経緯と改訂の趣旨 第5回 特別活動改訂の趣旨および要点 第6回 特別活動の目標(1) 第7回 特別活動の目標(2) 第8回 特別活動の内容（ホームルーム活動<1>） 第9回 特別活動の内容（ホームルーム活動<2>） 第10回 特別活動の内容（生徒会活動） 第11回 特別活動の内容（学校行事） 第12回 特別活動の評価、指導に当たる教師の姿勢 第13回 特別活動の指導計画の作成、内容の取扱いにあたっての配慮 第14回 これまでのまとめ 第15回 試験とレポート提出について 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	おおむね次の点から目標を達成したといえる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動の教育課程上の位置づけおよびその基本的な性格について理解する。</li> <li>・学習指導要領における特別活動の目標や内容、および指導にあたっての配慮事項について理解する。</li> <li>・学校における集団活動の教育的な意味について考えることができる。</li> </ul>						
反省点	もっと多くの事例を知りたいという意見が出たため映像資料などを通じて事例紹介を取り入れるように心がけたが、時間的な制約もあり、昨年とあまり変わらない数の事例紹介にとどまってしまった。今後も工夫していきたい。また、教室の空気が悪いという意見については、授業開始前に換気をすることで改善されたように思う。						
来年度の計画	事例紹介に時間を使うだけでは理論・体系が学べないためバランスが難しいが、資料を工夫するなどしていきたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	学生からの要望に対しては、「来年度の計画」で上げたような改善を試みるつもりである。						
履修登録者数	34名	定期試験 受験者数	34名	合格者数	32名	合格率	94%